



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2014年（平成26年）3月5日号 No. 1621

目次

| | | |
|------------------------------|-------|----|
| ■ 図表で読み解くウクライナ経済の現実 | 服部 倫卓 | 1 |
| ■ キーパーソン | | 15 |
| ウクライナでヤツェニューク新内閣発足 | | 15 |
| ■ 統計速報 | | 16 |
| 2014年1月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績 | | 16 |
| 2014年1月の日ロ貿易 | | 17 |
| ■ トピックス | | 18 |
| ルノー、ロシア事業に差し迫った脅威なし | | 18 |
| 関西広域連合がロシアセミナーを開催 | | 18 |

図表で読み解くウクライナ経済の現実

ロシアNIS経済研究所 次長
服部 倫卓

はじめに

ウクライナで、V.ヤヌコーヴィチ大統領／地域党の政権が崩壊する事態となった。

周知のようにウクライナは、欧州連合（EU）との間で、連合協定締結を目指した交渉を進めていた。ところが、調印が予定されていた昨年11月の首脳会議の直前になって、ヤヌコーヴィチ政権は、協定交渉の棚上げを宣言。その直後から、反発した野党や市民が首都キエフの中心部に集い、大規模な反政府デモが続いてきた。年が明け、1月に政権側がデモ規制法を制定したあたりから、警官隊とデモ隊の衝突が激しくなる。2月19日に、政権側と野党がいったん停戦で合意したものの、直後に衝突が再燃。21日にヤヌコーヴィチ大統領と野党リーダーらが改めて危機回避の文書に署名、政権側は憲法改正、大統領選の早期実施などの譲歩を行った。

ところが、ヤヌコーヴィチ大統領は首都を離れ、自らの地盤である東ウクライナに脱出、憲法改正法への署名を拒否した。議会はこれを職務放棄と見なし、2月23日に大統領の失職を宣言。民主野党を代表して議会議長に就任したO.トゥルチノフが、大統領代行を兼務することになった。かくして、ヤヌコーヴィチ率いる地域党政権は、あっさりと崩壊した。